

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2000-226553 (P2000-226553A)

【公開日】平成 12 年 8 月 15 日 (2000.8.15)

【出願番号】特願 平 11-297995

【国際特許分類】

C 0 9 D 163/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/14 (2006.01)

C 0 9 D 5/16 (2006.01)

C 0 9 D 183/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 163/00

B 0 5 D 7/14 M

C 0 9 D 5/16

C 0 9 D 183/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 17 日 (2006.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 硬化エポキシ樹脂でコートされた金属基材を、その上に後で二重シリコーン汚損除去コーティングが塗布できるように大気条件下で改質する方法であって、当該方法が、

(a) 硬化エポキシ樹脂でコートされた金属基材上に、(i) エポキシ樹脂塗料 8 0 ~ 8 5 重量 % 及び (i i) 揮発性炭化水素溶剤と部分縮合有機シリケートと可溶化金属触媒とアミノアルキルトリアルコキシシランとを含むシリコーン接着促進剤 1 5 ~ 2 0 重量 % を含んでなるエポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を塗布する段階を含んでなり、アミノアルキルトリアルコキシシランがシリコーン接着促進剤中に、上記エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を硬化時に少なくとも粘着状態、すなわち後で塗布される縮合硬化 R T V を十分に固着するのに十分な程度の接着力を与えるか或いは不粘着状態に達せしめたときに A S T M D - 4 5 4 1 による凝縮破壊値を与えるのに少なくとも十分な量で存在する、方法。

【請求項 2】 前記アミノアルキルトリアルコキシシランが - アミノプロピルトリメトキシシランである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記有機シリケートがアルキルシリケートである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 硬化エポキシ樹脂でコートされた鋼基材を、その上に後で二重シリコーン汚損除去コーティングが塗布できるように大気条件下で改質する請求項 1 記載の方法であって、前記シリコーン接着剤混合物が、ミネラルスピリットと部分縮合エチルシリケートと可溶化ジブチルスズオキシドと有効量の - アミノプロピルトリメトキシシランとを含む、方法。

【請求項 5】 前記エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を前記硬化エポキシ樹脂でコートされた金属基材の表面にスプレーする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】 前記縮合硬化 R T V が有機ケイ素縮合硬化 R T V 結合層である、請求

項 1 記載の方法。

【請求項 7】 前記有機ケイ素縮合硬化 R T V 結合層の上に縮合硬化シリコーン R T V を塗布して二重シリコーン汚損除去コーティングを形成する、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】 (i) エポキシ樹脂塗料 8 0 ~ 8 5 重量 % 及び (i i) 揮発性炭化水素溶剤と部分縮合有機シリケートと可溶化金属触媒とアミノアルキルトリアルコキシシランとを含むシリコーン接着促進剤 1 5 ~ 2 0 重量 % を含んでなるエポキシ - シリコーン - 接着剤塗料であって、アミノアルキルトリアルコキシシランがシリコーン接着促進剤中に、上記エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を硬化時に少なくとも粘着状態、すなわち後で塗布される縮合硬化 R T V を十分に固着するのに十分な程度の接着力を与えるか或いは不粘着状態に達せしめたときに A S T M D - 4 5 4 1 による凝縮破壊値を与えるのに少なくとも十分な量で存在する、エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料。

【請求項 9】 前記アミノアルキルトリアルコキシシランが - アミノプロピルトリメトキシシランである、請求項 8 記載のエポキシ - シリコーン - 接着剤塗料。

【請求項 1 0】 耐腐食性エポキシでコートされた金属基材の表面に直接塗布されるエポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を用いて得られた二重シリコーン汚損除去コーティングを有する基材であって、上記エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料が (i) エポキシ樹脂塗料 8 0 ~ 8 5 重量 % 及び (i i) 揮発性炭化水素溶剤と部分縮合有機シリケートと可溶化金属触媒とアミノアルキルトリアルコキシシランとを含むシリコーン接着促進剤 1 5 ~ 2 0 重量 % を含んでなり、アミノアルキルトリアルコキシシランがシリコーン接着促進剤中に、上記エポキシ - シリコーン - 接着剤塗料を硬化時に少なくとも粘着状態、すなわち後で塗布される縮合硬化 R T V を十分に固着するのに十分な程度の接着力を与えるか或いは不粘着状態に達せしめたときに A S T M D - 4 5 4 1 による凝縮破壊値を与えるのに少なくとも十分な量で存在する、基材。